

## 旧閑谷学校聖廟



指定区分	国指定重要文化財(建造物)
読みかた	きゅうしずたにがっこうせいびょう
所在地	備前市閑谷
指定年月日	昭和13年7月4日
解説	貞享元年(1684)建築されたが、貞享二年(1685)に改築される。孔子廟または西御堂ともいわれ、儒学の殿堂の中心をなす建造物であり、大成殿、東階・西階、中庭、外門、練塀、文庫、厨室、繫牲石、石階、校門(鶴鳴門)からなる。大成殿は桁行三間、梁間三間の入母屋造である。床には備前焼の亀甲形敷瓦を敷き詰めている。内部には八角形の須弥壇[しゅみだん]の上に厨子[ずし]が置かれており、その中には京都の名工が鑄造した金銅製の孔子像を安置している。毎年10月には孔子のお祭「釈菜(せきさい)」が厳粛に行われている。
アクセス方法	JR吉永駅から3.5km, JR備前片上駅から7km
公開状況	旧閑谷学校史跡入場:9:00~16:30 / 見学料必要 / 休み:12/29~12/31 [問い合わせ先](財)特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会 0869-67-1436 ※聖廟は外観のみ
設備	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> <span>駐車場</span>  <span>トイレ</span>  </div>
備考	